

経済動向調査のまとめ

令和4年度 第3四半期 (10月~12月)

1. 兵庫県の景気動向

(令和4年10月17日発表 産業労働部地域経済課による兵庫県の経済・雇用情勢を集約)

① 景況

現状(良い-悪い) 構成比(%ポイント)

区分	R4.3	R4.6	R4.9	R4.12	R5.3(予測)
全産業	▲1	▲3	3	2	▲3
大企業	15	6	8	10	4
中堅企業	▲2	▲1	10	3	6
中小企業	▲8	▲8	▲2	▲3	▲13
うち製造業	1	▲5	▲1	▲3	▲5
うち非製造業	▲4	0	10	7	▲3

(出所) 県内企業短期経済観測調査(日本銀行神戸支店)

企業の業況判断は、足もととは横ばいだが、先行きは悪化すると見込んでいる。

② 需要

項目	R2年度	R3年度	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10
商業販売額:億円	17,960	18,016	1,505	1,624	1,550	1,479	1,529
(前年度比増減率%)	(+1.1)	(+0.3)	(+2.2)	(+1.2)	(+2.1)	(+1.9)	(+3.0)
(前々年度比増減率%)			(▲2.7)	(+2.4)	(▲4.7)	(+1.7)	(+6.1)
乗用車販売台数:台	152,809	141,627	10,357	11,154	9,361	13,009	11,632
(前年度比増減率%)	(▲8.7)	(▲7.3)	(▲15.0)	(▲8.2)	(▲6.3)	(+18.6)	(+21.6)
(前々年度比増減率%)			(▲1.9)	(▲13.2)	(▲7.9)	(▲15.4)	(+0.0)
新設住宅着工戸数:戸	30,551	29,844	2,587	2,509	2,797	2,265	3,274
(前年度比増減率%)	(▲3.2)	(▲2.3)	(▲0.4)	(+3.5)	(+5.9)	(▲11.8)	(+21.3)
神戸港輸出額:億円	49,756	61,520	6,402	6,014	6,028	6,245	6,688
(前年度比増減率%)	(▲8.4)	(+23.6)	(+20.5)	(+22.2)	(+28.1)	(+24.7)	(+23.7)

(出所) 商業動態統計(経済産業省)、新車登録速報(日本自動車販売協会連合会兵庫県支部)、軽自動車新車届出状況(兵庫県軽自動車協会)、住宅着工統計(国土交通省)、神戸港貿易概況(神戸税関)(商業動態統計調査の前年度比増減率は全店ベース)

項目	30年度	R1年度	R2年度	R3年度(実績)	R4年度(計画)
設備投資額(前年度比増減率%)	0.8	▲1.2	2.4	▲13.4	25.4
(H27年度比:H27=100)	(115.2)	(113.9)	(116.6)	(101.0)	(126.6)

(出所) 県内企業短期経済観測調査(日本銀行神戸支店)

個人消費は、緩やかに持ち直している。

輸出は、増加している。設備投資は、増加計画にある。

③ 生産

項目	R2年度	R3年度	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9
鉱工業指数:H27=100	93.1	93.9	93.1	96.8	96.1	97.3	98.3
(前月比増減率%)	(▲ 10.3)	0.9	(▲ 5.9)	(+ 4.0)	(▲ 0.7)	(+ 1.2)	(+ 1.0)

(月次は季節調整値、年度は原指数。年度増減率は前年度比較)

(出所) 兵庫県鉱工業指数 (県統計課)

生産は、持ち直しの動きとなっている。

④ 雇用

(有効求人倍率の年度値は原数値、雇用者所得計の年度値は年平均)

項目	R2年度	R3年度	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10
有効求人倍率(季節調整値):倍	0.97	0.94	1.02	1.02	1.05	1.04	1.07
新規求人数(原数値):人	26,812	28,235	30,896	30,377	28,326	30,042	32,540
(前年度比増減率%)	(▲ 20.0)	(+ 5.3)	(+ 9.1)	(+ 10.4)	(+ 10.1)	(+ 2.3)	(+ 6.3)
雇用者所得計:億円	5,418	5,340	7,623	6,276	4,630	4,683	-
(前年度比増減率%)	(▲ 4.7)	(▲ 1.4)	(▲ 1.9)	(+ 4.1)	(+ 3.2)	(+ 2.8)	(-)

(出所) 一般職業紹介状況(厚生労働省兵庫労働局)、毎月勤労統計調査地方調査(県統計課)

有効求人倍率は、前月を上回った。雇用者所得は、弱めの動きとなっている。

⑤ 金融

項目	R2年度	R3年度	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11
企業倒産件数:件	396	329	31	23	30	33	29
(前年度比増減率%)	(▲ 15.9)	(▲ 16.9)	(▲ 3.1)	(▲ 14.8)	(▲ 23.1)	(+ 43.5)	(▲ 3.3)
企業倒産負債総額:億円	590	294	14	38	51	24	84
(前年度比増減率%)	(+ 18.5)	(▲ 50.1)	(▲ 72.2)	(▲ 22.0)	(+ 97.2)	(+ 7.4)	(+ 304.8)

(出所) 兵庫県企業倒産状況(東京商工リサーチ神戸支店)

倒産件数は、前年を下回った。

～県内景気の現状についての日本銀行神戸支店のコメント～

管内の景気は、持ち直している。

個人消費は、緩やかに持ち直している。設備投資は、増加している。住宅投資は、概ね横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は、弱めの動きとなっている。輸出は、増加している。

こうした中、生産は、緩やかに増加している。雇用・所得環境は、全体として緩やかに改善している。消費者物価(除く生鮮食品)は、前年を上回って推移している。

(令和4年11月15日 日本銀行神戸支店「管内金融経済概況」)

2. 地域における景気動向

但陽信用金庫 景気動向調査レポートより (2022年10~12月期)

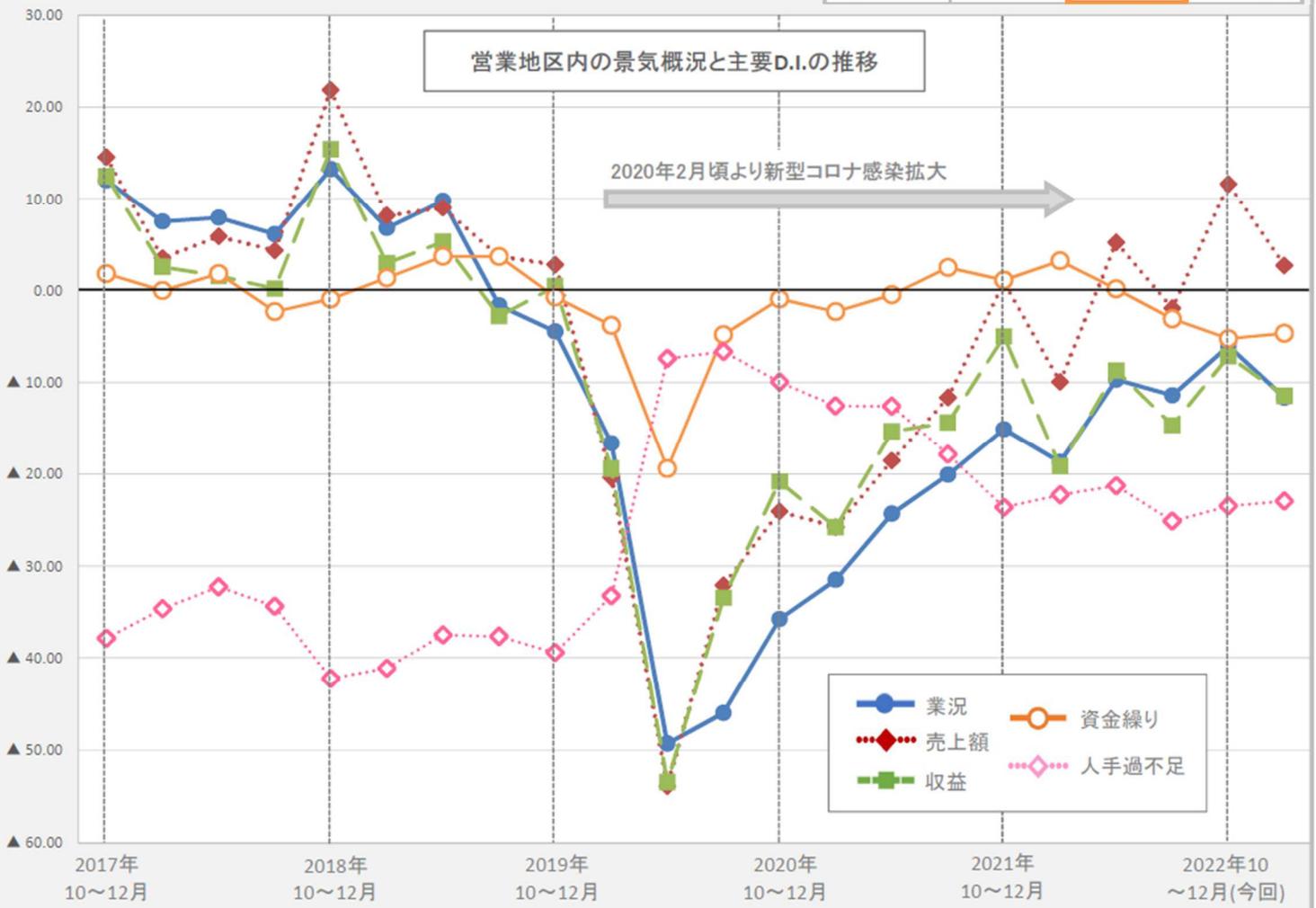
※ D.I. (Diffusion Index)とは 「良い」「増加」「上昇」「過剰」「楽」と回答した企業の占める割合と、「悪い」「減少」「下降」「不足」「苦しい」と回答した企業の割合との差により、景気の方角を判断する指数です。

今期の全地域・全業種における業況D.I.は▲6.01と前期から5.40ポイント改善、売上額D.I.・収益D.I.・人手過不足D.I.についても改善しましたが、資金繰りD.I.のみ低下しています。来期は業況D.I.・売上額D.I.・収益D.I.が低下し、資金繰りD.I.・人手過不足D.I.が若干改善する予想となっています。10月から開始された全国旅行支援、水際対策緩和によるインバウンド需要の増加や、コロナ感染第8波にありながらも行動制限が課されないなどの要因もあり、徐々にアフターコロナの生活様式への移行が期待されるところで、資源価格上昇や日米金利差拡大を受けた円安による物価の上昇、コロナ融資の返済開始等が重荷と受けとめられているようです。

D.I.	2022年7~9月期	2022年10~12月期(今回)	2023年1~3月期(予想)
業況	▲ 11.41	▲ 6.01	▲ 11.63
売上額	▲ 1.93	11.61	2.71
収益	▲ 14.67	▲ 7.16	▲ 11.43
資金繰り	▲ 3.09	▲ 5.22	▲ 4.64
人手過不足	▲ 25.15	▲ 23.50	▲ 22.96

営業地区内の景気概況と主要D.I.の推移

2020年2月頃より新型コロナ感染拡大

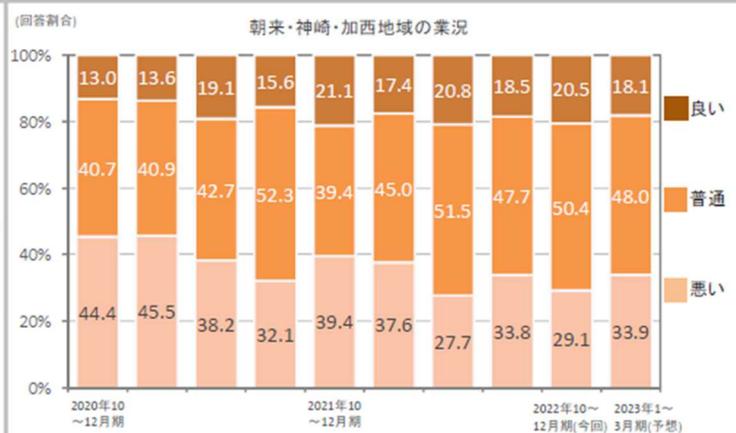
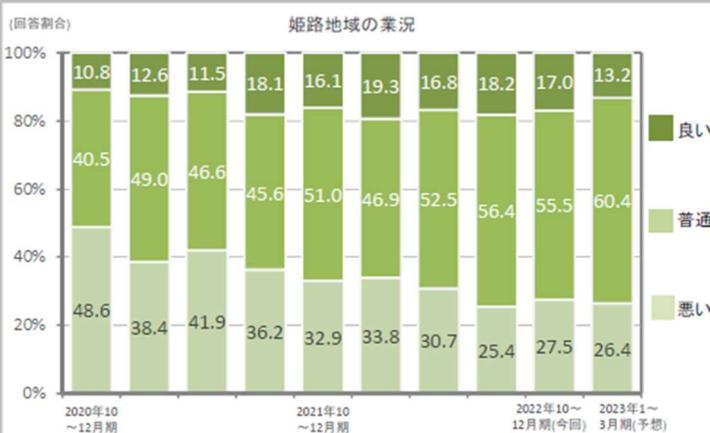
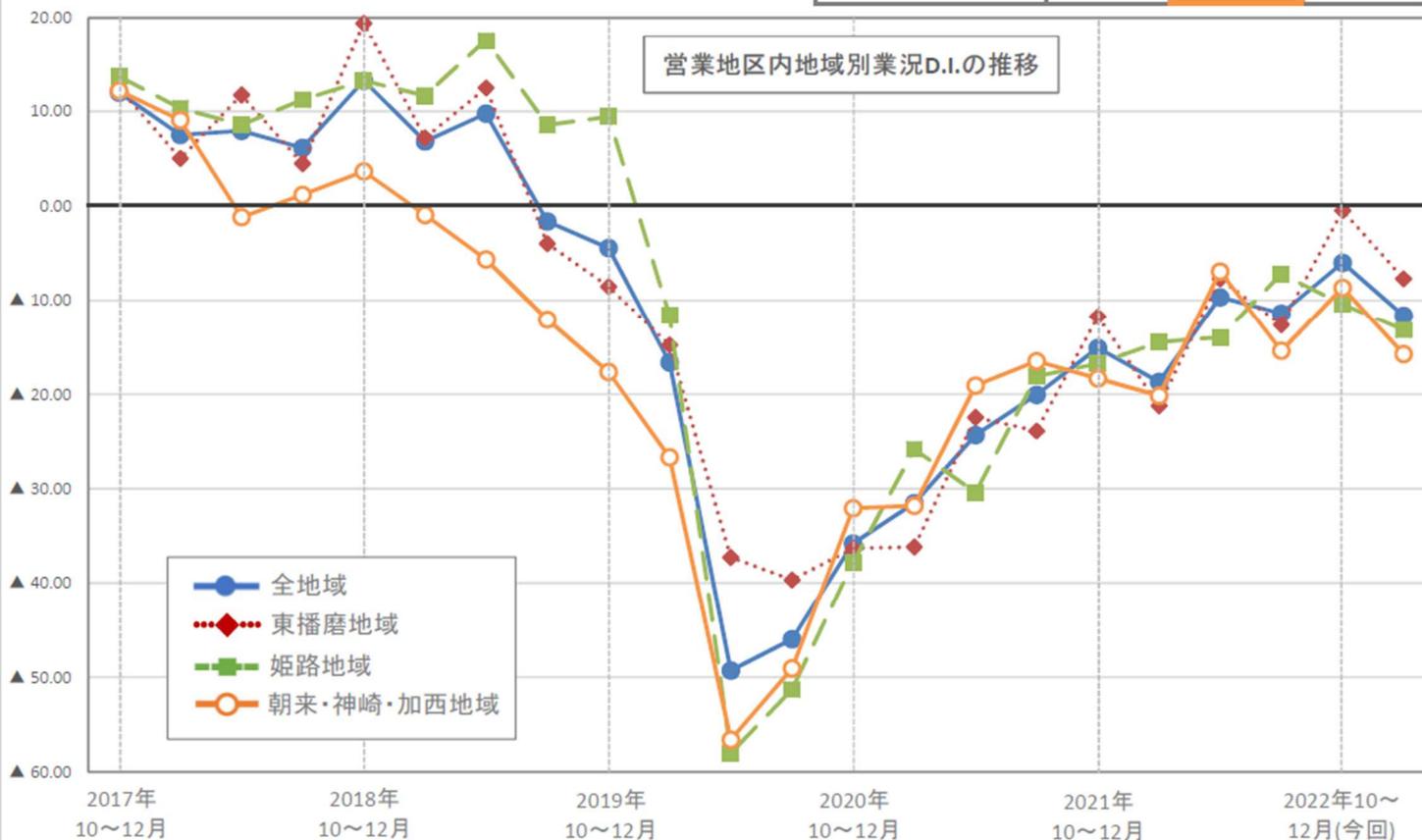


(回答企業 517社) (回答率 99.0%)

今期の地域別業況は、全地域が▲ 6.01 と前期から 5.40 ポイントの改善、東播磨地域は▲0.48 と 12.14 ポイントの改善、姫路地域が▲10.44 と 3.26 ポイントの低下、朝来・神崎・加西地域は▲8.66 と 6.72 ポイント改善しました。来期は、全地域および全ての地域別で低下する厳しい予想となっています。

地域	2022年7 ～9月期	2022年10 ～12月期 (今回)	2023年1 ～3月期 (予想)
全地域	▲ 11.41	▲ 6.01	▲ 11.63
東播磨地域	▲ 12.62	▲ 0.48	▲ 7.73
姫路地域	▲ 7.18	▲ 10.44	▲ 13.19
朝来・神崎・加西地域	▲ 15.38	▲ 8.66	▲ 15.75

営業地区内地域別業況D.I.の推移



業種別では、建設業が7.77、製造業が2.13とプラス域に浮上し、それぞれ前期比10.65ポイント・7.95ポイント改善しました。また、小売業がマイナス域ながら▲25.37と14.34ポイント改善した一方で、サービス業が▲22.50と3.27ポイント低下、不動産業が0.00と13.33ポイント低下、卸売業が▲16.67と2.09ポイント低下しました。来期は、製造業・建設業が低下、サービス業・卸売業が横ばい、不動産業・小売業が改善する予想となっています。

業種	2022年7～9月期	2022年10～12月期(今回)	2023年1～3月期(予想)
製造業	▲5.82	2.13	▲11.17
サービス業	▲19.23	▲22.50	▲22.50
不動産業	13.33	0.00	6.67
小売業	▲39.71	▲25.37	▲22.39
卸売業	▲14.58	▲16.67	▲16.67
建設業	▲2.88	7.77	0.00

営業地区内業種別業況D.I.の推移

